

令和4年度 未来教室・アンビション文京

事業所内評価のまとめ

* 事業所内の評価をとりました。事業所内の運営等を客観的に見て意見を出されているものと主観的にとらえて回答しているものがありました。

すべての評価を「適切」と回答しているものがほとんどで、仕事（湯島総合体育館にての清掃）と教室運営（指導・支援の方法）について「いいえ」と回答しています。

また、今後の課題につきましましては見通しをもって課題解決に当たっていきたいと思います。

I 教室運営について

1 開設時間（8：00～17：00）は適切であるか。

（緊急事態宣言下では一部 16:00 まで 放課後等デイサービス 18:30 まで）

- ① はい（100%）
- ② いいえ（ ）
- ③ 工夫している点・課題や改善すべき点

・家庭の状況によって受け入れる時間帯が調整できているので十分な対応ができていると思う。

・朝早くから開所していることによって利用者のニーズに合う利用時間・方法ができるとよいと思う。**余暇の使い方かと思いますが、放課後と同様に考えて支援していただきたい。今後も個々が活動できる教材やグッズの準備の工夫をし、有意義な時間が過ごせる工夫をお願いしたい。*

・放課後等デイサービスの遅い時間利用者の受け入れ体制は今のままでよい。

2 本教室及びアンビション文京の教育方針は本事業の理念に合致しているか。

- ① はい（100%）
- ② いいえ（ ）
- ③ 工夫している点・課題や改善すべき点

・「学びの継続」を柱にして学習や体験の機会を模索している。

・利用者一人一人に合った課題を今後も準備できるようにしていく。

3 預り金（食費等）は、毎月集金・月末返金また、個人負担金は現金集金としていることはよいか。

- ① はい (100%)
- ② いいえ ()
- ③ 工夫している点・課題や改善すべき点

・消耗品費等の取り扱いがあるので全員一律に振り込みにするのは難しいように思う。
・現金で集金している点については、口座からの自動引き落としなど柔軟に対応できるので良いと感じる。*口座からの自動引き落としは行っていないが自動振り込みについてはご希望の方は行っている。毎回、消耗品費の出金に行かなければならず、また、一律に振り込んでいただけないので現段階では難しい。

4 支援体制はよいか。

- ① はい (100%)
- ② いいえ ()
- ③ 工夫している点・課題や改善すべき点

・放課後等デイサービスのピークタイムは、今後の課題である。*学生ボランティアの導入も考えている。
・現在の利用人数なら問題なく対応できていると思う。しかし、こまめに連絡を取るなど連携を図ることは必要だと感じる場面が多い。
*職員の人数を増やす、また、学生ボランティアを募集するなどの方法を考えている。職員間の連携は今後も図っていく。

5 指導・支援の方法は適切であるか。(虐待等)

- ① はい (75%)
- ② いいえ (25%)
- ③ 工夫している点・課題や改善すべき点

・職員1人で学習を見る時間((4階・地下)があるので支援が適切か再確認していきたい。(2) *適切な支援ができているかは今後も研修等で自己確認することになる。ボランティアも導入し2名以上で支援できるような体制をとっていきたい。
・学習や仕事の支援は適切であると思う。ただ、一人一人の生活面の支援の方法については改善するところがあると考えている。*一人一人の特性や心身の状態、成長・発達を見ながら今まで以上に支援の在り方を職員間で共有していく。毎日の打ち合わせの時だけでなく職員会議後にもカンファレンスの機会を設けていく。

II 活動内容等について

1 アセスメントを行い作成された個別の支援計画に基づき適切な支援を提供しているか。

- ① はい (100%)
- ② いいえ ()
- ③ 工夫している点・課題や改善すべき点

- ・支援の方向性は職員間で共有されていると思う。
- ・こういった支援をしていくかなど朝の会などで職員間で共有できているのが良い。

2 行事については(避難訓練・年間12回)適切に行っているか。

今年度、他の行事は自粛。

- ① はい (100%)
- ② いいえ ()
- ③ 工夫している点・課題や改善すべき点

- ・新型コロナの状況を鑑みて、チャンスがあれば体験の機会を増やしていきたい。*未来教室(児発)とアンビション文京の利用者は宿泊学習を再開させていく予定である。また、放課後等デイサービスの利用者が多い長期の休みには放課後等デイサービス利用者も校外学習に参加させていきたいと考えている。
- ・毎月、災害の想定を変えていてよかった。
- ・毎月欠かさず避難訓練を続けているので、予告なしの時でも机の下に隠れるなど身を守る動作が身についている。地下と四階は上履きで非難するという特例の行動もよく身についている。
- ・避難訓練は毎月行っている所以利用者は素早く行動できていて成長を感じる。
- ・近隣の警察官を呼んでの安全教室もしてみたい*コロナ禍前は富坂警察に行って安全教室を開催していた。来年度は警察署のご都合もあると思うが実施の方向で考えている。

3 一週間の活動は適切であるか。

- ① はい (100%)
- ② いいえ ()
- ③ 工夫している点・課題や改善すべき点

・アンビション文京についてはドライフラワーなど新しい活動も始まるので刺激となってほしい。*4月から地域活動支援の中の活動としてドライフラワーづくりを考え現在準備中である。利用者が楽しみながらドライフラワーづくりに取り組めるよう支援をしてほしいと思っている。いずれは商品として外部の方に購入していただけるようにと考えている。

・一週間の活動を明確に時間で管理しており、利用者の生活リズムがとの得られている点が良いと思う。

・放課後等デイサービスの利用者にも体を動かすプログラムや運動環境を整えればよくなると思う。*時間的な制約、指導者の限界もあり現実的には厳しいと思うが考えていきたい。

4 仕事の時間や内容は適切であるか。

- ① はい (75%)
- ② いいえ (25%)
- ③ 工夫している点・課題や改善すべき点

・事故なく毎週仕事に行けているので利用者はよく頑張っていると感じる。*特に外出時は、常に事故・事件に巻き込まれないよう今後もアンテナを高くもって職務に専念してほしいと思う。

・来年度から新たな仕事が増えるので一つの活動として定着させるか利用者と支援員の関係から一歩先の関係をとるようにしたい。

*ドライフラワーはアンビション文京の活動の一環である。湯島の体育館へ仕事に行くのと同じように考えていただきたい。カリキュラムの中に入れており、将来的にはそれがアンビション文京の利用者の個人収入にしたいと考えている。

・4月からのドライフラワーの仕事が楽しみである

Ⅲ 自由記述（未来教室及びアンビション文京のことでお気づきのことがあれば、ご自由にお書きください。）職務や研修等に関するご記入ください。

- ・アンビション文京のドライフラワーと放課後等デイサービスの集客についてが次の課題だと思っている。軌道に乗せられるように販促方法や制作過程の効率化ができるように工夫していきたい。*まず利用者が、ドライフラワーの仕事に慣れ、みんなで仕事をして一つのものを作り上げる喜びを持たせてから販路を考えていきたい。商品となったら保護者の方々にもご協力をいただくことになると思う。
- ・放課後等デイサービスは現段階で定員超過となっている。2～3年後の利用者人数の推移を見ながら、また、児童発達支援の集客も考え本法人の運営がスムーズにいくよう図っていく。
- ・虐待防止研修の外部講師を招いて研修会を開いてほしいと思っている。
*虐待防止については、まず未来教室の三つの credo 「私たちは利用者の人権を守ります」「私たちは利用者の思いを大切にします」「私たちは利用者の将来に自信と希望をもたせる活動をします」を職員一人一人が自覚して利用者の支援を行い、そのうえで来年度は外部講師を招いて研修を行う予定である。研修には主体的に参加し、職務の中でしっかりと実践してほしいと思う。
- ・放課後等デイサービスの比重が高くなっているが、欠席してしまったり年末年始の利用日数が減になったり、感染症の時期の利用者不足は法人の運営に影響する。その対策を考える必要はある。*確かに利用者が一時的に減ることは運営に差し障る。利用してもらえよう活動を工夫したり支援の在り方を考えたりして事業所内での努力をしていきたい。